

祝新年！令和最初のお正月はコンサートで笑い初め！！

# ウィンナー・フルツ オーケストラ

NEW YEAR 2020 宮殿祝賀コンサート



<予定プログラム>

トリッチ・トラッチ・ポルカ  
芸術家の生活  
夜の女王のアリア  
雷鳴と稲妻  
クラップフェンの森で  
美しく青きドナウ ほか

新年の幕開けは幸せを呼ぶウィンナー・フルツ!  
胸躍るシュトラウスの音楽で魅せる  
きらびやかなヴィーン舞踏会の世界。

<出演>

サンドロ・クトゥレーロ（指揮）  
ウィンナー・フルツ・オーケストラ  
ダンサー4名、ソプラノ歌手1名

2020年1月19日(日)14:00開演(13:30開場)

玉村町文化センター『にしきのホール』

全指定席  
(税込) 5,500円 [ペア券10,000円]  
[高校生以下4,000円]

●主催／(公財)玉村町文化振興財団、光藍社

☎0270-65-0600

9:00～17:00(月・祝休み) ※電話予約・チケット郵送OK

〒370-1105 佐波郡玉村町福島325 <http://www.tamamura-bunka.or.jp>

8月31日(土)発売開始!!

発売初日の電話予約は13:00～

※チケットは郵送できます。(郵送料ホール負担)

※振込手数料はお客様のご負担となります。

※未就学児のご入場はご遠慮下さい。

※やむを得ない事情により、曲目、出演者等が変更になる場合がございます。

# お正月はウィンナー・ワルツで笑い初め! 音楽の都ウィーン伝統の華やかな舞踏会の雰囲気をそのままに、 シュトラウスの軽快な音楽を陽気な仲間達と一緒に楽しみましょう!

大晦日、時計の針が10時を指したウィーン・ホーフブルグ宮殿。「ル・グラン・バル(大舞踏会)」の始まりだ!この舞踏会を皮切りに、年明けから3月初旬までウィーン市内で開かれる数々の舞踏会。外は厳しい寒さだが、宮殿の中は暖かい空気と和やかな笑顔、笑顔、また笑顔。

そして舞踏会と言えばドレスコード。男性は燕尾服やタキシード、女性は華やかなボールガウン(舞踏会用ドレスやロング・イブニングドレス)に身を包み、煌びやかに着飾る。ウィーンの名だたる舞踏会はこれが決まりだ。流れる音楽はもちろん、ヨハン・シュトラウス2世をはじめとしたウィンナー・ワルツやポルカ、カドリーユ、行進曲。ちょっと堅い格式の中にも、新しい年を迎えた喜びにあふれる。

今年もウィンナー・ワルツ・オーケストラがそんなウィーンの新年の香りと喜びを携えて、2020年のニューイヤーにやって来る。21年目を迎えたこの公演は、もはや「お正月の風物詩」と言っても過言で

はないだろう。

ウィーンで活動を続けるこのオーケストラを率いてくるのは名物指揮者のサンドロ・クトゥレーロ。お客様を楽しませることが大好きなエンターティナーだが、聴かせる音楽に妥協はしない。シュトラウス一家の音楽とウィーンを代表する名曲を軽快で鮮やかに響かせる。そして曲に合わせて踊る4人のダンサー達。曲ごとに衣装を変え、ワルツでは優雅に舞い、ポルカではリズミカルにステップを踏み、多様な演出で会場を魅了する。もちろんソプラノ歌手の美しい歌声も聴きどころ。気品がありながらもチャーミングに歌うのはやはりこのニューイヤーコンサートならでは。そしてプログラムの最後を飾るのはお決まりの“ラデツキー行進曲”! 新年の幕開けにぴったりの見て楽しい、聴いて楽しい最高にハッピーなコンサート。手拍子をしながら皆様で盛り上がりましょう!



## サンドロ・クトゥレーロ（指揮者）



1961年、イタリアのトロペアに生まれる。1980年、ローマのサンタ・チェチーリア国立音楽院においてセルジオ・ペルティカローリにピアノを師事。その後、ローマ・トル・ヴェルガータ大学で政治哲学を専攻し、優秀な成績で博士号を取得。1985年よりウィーンに移り、ピアニスト、作曲家および指揮者として更なる研鑽を積む。1990年、「ウィンナー・ワルツ・オーケストラ」を設立。1994年にコンツェルトハウス、1997年には楽友協会ホールなど、ウィーンの有名なコンサートホールにおいて数多くのコンサートを行った。1996年、イタリアでベネチア室内管弦楽団を設立。ヴィヴァルディの「四季」などバロック作品の演奏を得意とするこの

オーケストラは、ベネチアで大きな成功を収めた。1997年にはプラハ・モーツアルト・オーケストラを設立。これら3つのオーケストラは、中国の南寧国際フェスティバル、韓国のソウル・アーツ・センター、東京のオペラシティや日本の有名なコンサートホールで公演を行い、好評を博している。

ソリストおよび指揮者として、W.A.モーツアルト、J.シュトラウス、A.ヴィヴァルディの作品を数多く録音、ピアニスト兼指揮者として精力的に活動している。

さらに哲学と文学の分野でも才能を発揮し、彼の詩集は評論家などからも絶賛されている。

## ウィンナー・ワルツ・オーケストラ

「ウィンナー・ワルツ・オーケストラ」は、日本でもすっかりお馴染みのサンドロ・クトゥレーロにより、宮殿での祝賀コンサートを機に設立された。クトゥレーロの“ワルツへの愛と情熱”に賛同した才能溢れる演奏家が彼のオーケストラに参加。ウィンナー・ワルツのルネッサンス(復興)をモットーに、シュトラウスのウィンナー・ワルツを最高の形で観客の皆様にお届けすることを目指している。

オーケストラは約25名の弦・木管・金管・打楽器により構成され、さらに曲によってバレエ・ダンサー、歌手が登場し、楽しい踊りと美しい歌声が会場を盛り上げ、ウィンナー・ワルツをより楽しませてくれる工夫がなされている。

「ウィンナー・ワルツ・オーケストラ」は、ウィーンの優れたシュトラウス・アンサンブルの一つに数えられ、観客の多くがウィーン情緒たっぷりのこの公演を楽しみにしている。多彩な演出も楽しみのひとつであり、過去20回の来日公演も大好評を博した。

## 【ダンサー4名、ソプラノ歌手1名出演予定】

ご注意とお願い

・会場内における飲食、喫煙はご遠慮下さい。 ①写真撮影、録画、録音等は禁止させて頂きます。 ②未就学児童のご入場はご遠慮ください。  
・開演後のご入場は制限させて頂く場合がございます。 ③やむを得ない事情により曲目等が変更になる場合がございます。予めご了承下さい。